

入塾のご案内

— 「考える」を考える。 —



あたまをたがやす
atama wo tagayasu

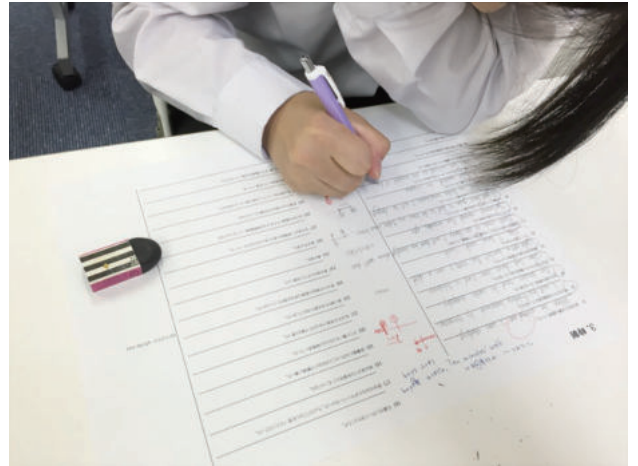
「考える」を考える。これが与一の柱です。

保護者の皆様は、自分のお子様がどのくらい「考える力」があるとお考えでしょうか。私は塾の講師としての仕事を始めて20年経ちますが、恥ずかしながら子供たちがどれほど「考える」ということができていないのかに気づいたのは、この仕事を始めて何年も経ってからでした。それまでは、生徒がわからないと言えば考えた上でわからないのだと思い、特に考えもせずにヒントを与え、答えを導くまで繰り返すという通常の指導を続けていました。

しかし私にとって、もしくは大人にとって当たり前の「考える」ということが、子供には一体どこからできていないのだろうと考えたとき、もしかしたら「どこから」ではなく、「まったく」できていないのではないかと思い当たったのです。

例えば、問題を解くにあたって最初にするのは何でしょう。当然何を問われていて何をこたえるべきなのかを、問題を読んで確認することです。ですが驚くべきことに、問題を読まずに解き始め、全く見当違いな答えを書く生徒は決して少なくありません。「考える」ということのスタートラインにすら立っていないのです。

また、ちゃんと考えて解いた、聞いてみれば多くの子供はそう答えます。ですがそうした子供に自分の答えに辿り着いた過程・そう考えた理由を尋ねると、やはりまともな答えは返ってきません。その子供たちにとっては一目見て頭に浮かんだ答えこそが「考えた」ということなのでしょう。「考える」とは0か1かのデジタル時計のようなものであり、アナログ時計のように0から徐々に数を増やしていくようなものではないのです。



私はこうして学習塾を経営しておりますが、その一番の目的は勉強を教えることではありません。勉強というツールを用い、子供達に「自分の将来を自分で切り拓く力を付けてあげたい」そう強く願っています。その力として思考力、つまり「正しく考える力」を付けてあげたい、進学や成績向上はそうした力を付けることを目的とした勉強の結果としてもたらされるものであれば良い、そう考えております。

そのために与一では全てにおいて0か1ではなく、「どのように」「どうして」「なぜ」そう考えたのか、こうしたことを説明させることを意識しながら指導を行います。将来何かの場面で大きな壁にぶつかっても、その大きな困難を克服するために、ここで養った「考える」力が必ず役に立つと信じています。

「考える」を考える。これが与一の指導の柱です。考えるとは一体どういうことなのか。そこから考え、最後には正しい思考力を身に付けることが私達と子供達のゴールです。お子様の将来のため、是非一緒にたくさんの方のことを考えていきましょう。



「与一」の名前に込めた意味。

■ 那須与一のように「的を射た」指導を。

平家物語でお馴染みの那須与一。揺れる船上で同じく揺れる扇の的を射たという逸話で有名です。私達は彼にあやかり、「的を射た指導」をすることを目的とし、「与一」という名を付けました。

塾の看板は言うまでもなく授業です。聞いて「なるほど」と思えること、これが最低限のレベルであると思っています。塾でよく言われる「わかりやすい」という言葉は、実はそれほど聞くのが難しい言葉ではありません。先生の説明通り解いて答えが出る。こんな当たり前のことでも生徒からは「わかりやすい」という言葉を聞くことができます。ですが「なるほど」という言葉はそうはいきません。その言葉を聞くためには、講師の説明が問題を解くためのものではなく、的

を射た本質をついたものである必要があります。その説明を理解した上で生徒が問題を解き、その説明の意図が身をもって理解できたとき、初めて「なるほど」という言葉が聞ける、そう考えています。

一方塾の指導とは授業だけではありません。塾での勉強だけでなく、学校での授業や部活動の様子、家庭学習等についても話をし、問題があると感じればすぐに正しい方向へ導きます。また高校受験・大学受験に関しても、早い段階から何度も話し合い、生徒の今後の進むべき道を正しく示していくことも大切にしています。こうした話し合いを通して私たちが生徒と共に歩んでいくことも、与一の大事な指導の一つです。

■ 「与えるものは一つだけ」教えすぎない、考えさせる。

「わかりません」「どこまで考えた？」一子供の中には考えることを放棄し、すぐにわからないという子も少なくありません。「わかるまで教える親切な塾」を謳うのは簡単ですが、果たしてそれが本当にその子のためになるのでしょうか。答えた結果には○か×のどちらかしかなくても、その解答に辿り着くまでの過程には様々な段階があります。与一ではその段階を少しずつ引き上げていくことを念頭に置いて指導をしています。

そのため与一では「わからない」と言われてもすぐに教えないということを徹底しています。「わかりませ

ん」と言われたときには、まずは冒頭のような会話をを行い、すぐに答えを求める生徒に、途中までであっても放棄せずに自分で考えることを促します。その後同じような問いかけを繰り返し、どこまで考えが至っているかを確認しながらその段階に応じたヒントを与え、さらに頭を使うことによって求められた答えへと近づけていきます。そして最終的には「自分で」解答へと辿り着かせる。こうした指導を行います。

「あまり教えてくれない塾」一見不親切なようですが、生徒の可能性を最大限に引き出すため、与一はそうした塾を目指しています。

■ 「You are 1.」一人ひとりがそれぞれの解釈を。

答えがいくつもある、とよく勘違いをされる国語を含め、受験科目においては「問題の答えは一つしかない」と言われます。そしてそれは実際に、受験においては紛れもない事実です。しかし、勉強を通じて身に付けるべき力はその決まった答えを見つける力ではありません。決まった一つの答えを探す中で、焦りや苛立ち、諦めの気持ちと闘いながらも必死で考え、その中で「考える力」を養うことが重要なのです。つまり勉強とは、決まった一つの答えを考えることで、実は答えの決まっていない問題に対して立ち向かう力を付けるものであると言えるのです。その身に付けた「考える力」を通じて、今後出くわす様々な困難に対し、一人一人が自

分なりの答えを出せるようになることが、勉強の何よりの意義ではないでしょうか。

「考える」を考える。与一の柱であるこの言葉に対しても、やはり答えは一つではありません。受験に向けての勉強の中で、「考える」ということに対し常に自問自答を繰り返し、自分なりの答えを見つけてほしいと思います。

「考えるってこういうことだと思います」「こういう考え方ってどうですか」与一を巣立つ頃、私達の問いかけに一人一人からこうした自分なりの明確な答えが聞けることを、心から願っています。

一人一教科の専任指導で質の高い授業を。

一人の講師が複数の教科を担当すれば、授業を組む上での効率が良くなり、塾側には大きなメリットがあります。しかし与一では、一人の講師の受け持つ教科を一教科のみに限定しています。

専任指導にすることで一つの教科に集中することができ、よ



り深く研究・勉強する時間が増え、さらなる知識の上積みが可能となります。またより良質な教材を準備し、オリジナルな授業を展開できるようにもなります。与一の高品質な授業はこの選任指導によって成り立っています。

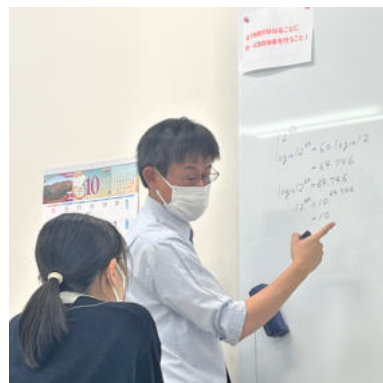
中学・高校英語担当 井上昇哉

「覚えるだけの英語」から脱却するため、縦横無尽な知識を駆使した授業は学校では教わらない新たな刺激で溢れています。一方でただの押しつけではなく、英作文を柱とした能動的な能力の育成にも尽くします。生徒に「最高」と言わしめる授業を是非堪能してください。

生徒の声 授業中は常に本気で、その本気が生徒にも伝わってきます。私は、今までに井上先生の手を抜いた授業を受けたことがありません。(北高3年生) 2年生の時に単語で課題の単語で苦しんでいましたが、やって良かったと思います。井上先生の課題は、苦しいけどきちんとやると絶対いいことがあります。(北高3年生) 時には子どもっぽく振る舞い生徒の目線になってくれて親近感が感じられるので、英語に対する質問や、他の勉強の事なども相談しやすい。(城東2年生)

高校数学担当 武富明義

与一随一の努力家。涼しい顔して行う板書授業は、見えない所での想像を超える日々の勉強に裏付けされたもの。「生徒がここでつまづくのでは」と常に生徒目線で問題にアプローチするからこそ、「なるほど」とその説明に納得することができます。君の悩み、決して一人で抱え込ませません。



生徒の声 勉強続きでの詰まりそうな中、武富先生の授業は一週間の中で一息ついて次の週への活力を取り戻す貴重な時間です。もちろんしっかり授業もして、良い時間を過ごしています。(市高2年生) 自分ではまだまだ全然力不足と仰っていますが、目に見えて指導が上達しているのを感じます。先生ですら努力をするなら、受験生である僕が努力しない訳にはいかないと常に学ばせてもらっています。(市高2年生)

～講師実績～

| | |
|---------|--|
| 高校 | 城東(普通・人文・数理・英数) 徳島市立(普通・英数・理数) 徳島北(普通・英数) 城ノ内(普通・英数) 城南(普通) 他多数 |
| 大学(国公立) | 徳島大(医・薬・総合科・工) 鳴門教育大 香川大 愛媛大 大阪大 名古屋大 神戸大 広島大 岡山大 大阪府立大 大阪市立大 京都府立大 他多数 |
| 大学(私立) | 徳島文理大 四国大 明治大 立教大 中央大 法政大 関西大 関西学院大 同志社大 立命館大 関西外大 武庫川女子大 他多数 |

coming soon

鋭意選定中

与一創設しばらくしてよりずっと中学数学を担当していた講師がこの春独立のため退職。ですが与一では生徒のために「どの講師もが自信を持って勧められる講師であること」を絶対条件にしています。人を補うためでなく、妥協せずそうした講師をしっかりと探し続けます。

与一自慢の「よいちノート」で自己成長力を養う！



勉強の実力を付けるために大事なものは何でしょうか。自分がどんなところを、どう間違えたか。その間違いはどうしたら直るのか。また自分が何ができて何ができないのか。それはどうしたら改善していけるのか。客観的に自分を見つめ、自らの力で改善していける「自己成長力」。受験に向けての勉強時間の多くは自分一人で勉強する時間であるため、これを養い、自分の成長に繋げることが欠かせません。

与一では独自に制作した「よいちノート」を授業後、または授業中にでも「自分で」記入することにより、よくある講師が書く報告書などとは異なり、その日の学習をその日の内に客観的に見ることで英語・数学における実力を育成するのみならず、こうした自己成長力を着実に育てていきます。

加えてよいちノートは自分のこれまでの成績を記録して時々確認したり、身に付けたい知識を書き込んだり、試験に向けての計画を立てたりなど色々な使い方ができるようになっています。ノートの書き込み量に応じて共に成長し、受験が終わったときには「よいちノートは自分の宝物」そんな風に言えるといいですね。

「個別」+「クラス」=少人数指導で両方のメリット。

「個別指導」のメリット・デメリット

○メリット

- ①苦手なところをわかるまで教えてもらえる。
- ②自分のペースで進められる。
- ③質問がしやすい。

○デメリット

- ①演習中心の授業で「最初から説明」はしない。
- ②1対2などの場合、同じ説明を2人分することになり、授業効率が悪くなる。

「一斉指導」のメリット・デメリット

○メリット

- ①板書を使って1からしっかりと説明してもらえる。
- ②全員に向けて説明するので、時間を気にせずゆっくり丁寧に説明できる。

○デメリット

- ①一斉解答をすると、答えを聞いて赤で直すだけとなり、自分で直す機会がない。
- ②人数が多いので質問を遠慮したり、「わかったつもり」になりやすい。



「少人数指導」のメリット

- ①授業の最初には、全員に向けて板書授業による説明を行います。全員一緒に行うので一度で全ての説明を「効率良く」説明ができ、その分時間を使って「ゆっくり丁寧に詳しく」説明もできるので、1からきちんと理解できます。
- ②問題の演習に対しては個別指導を行います。個々の理解度に応じて自分のペースで解き進めることができ、すぐに質問もできるので「わかったつもり」をなくすことができます。また間違えたときにはただ答えを聞いて書くだけではなく、ヒントをもらいながら自分で答えまで辿り着くことで「最後まで自分で解けた」を実感できます。

■「中学生からの大学受験」とは一。

与一の中学部の最大のコンセプト「中学生からの大学受験」とはどういうことでしょうか。与一では高校に入ってから大学を意識するのではなく、中学生のうちから次の3つを常に意識して授業を行います。

①大学受験の情報を与えること

高校によってその後の選択肢にも影響があることを意識させ、より高いレベルの高校への意欲を持たせます。

②上位の生徒には中学内容以上のことも教えていくこと

高校入学後の学習がスムーズになるのと同時に、その応用で中学内容がより容易に解けるようになります。

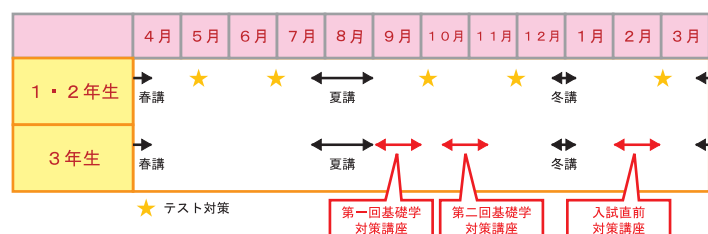
③丸暗記ではなく「実力」をつけること

早い段階から問題を「考えて解く」力を育成することで、高校入学後の大きな伸びが期待できます。

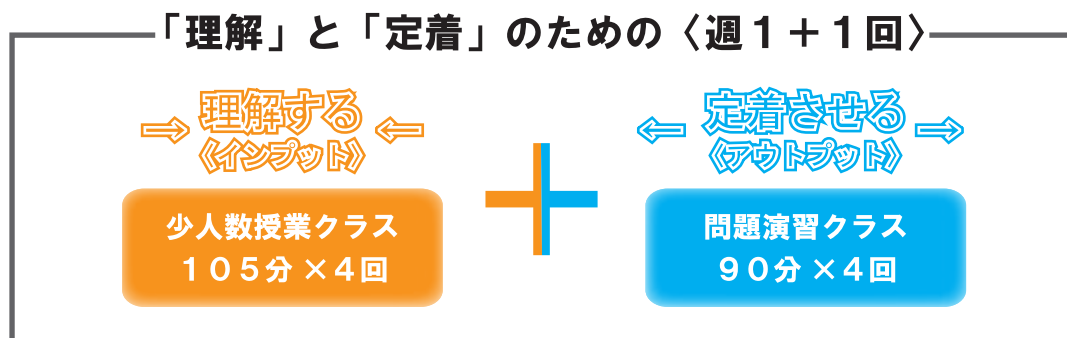


■「でも目の前のテストも大事」だから一。

そうは言ってもやはり目の前のテストで点をとりたいと誰もが思うでしょう。与一ではそうした気持ちに応えるため、1・2年生にはテスト前にテスト範囲の復習によって対策を行い、確実な点数確保を目指します。3年生では、進路選択上最重要と位置づけられる基礎学力テストの前に対策講座を行っています。志望校へ合格できるよう、このように目の前のテストも意識しながら共に最善の努力をしていきます。



〈週1 + 1回〉の授業で理解も定着も。



■少人数授業クラス —理解するためのインプット—

「塾の看板は、何よりも授業である。」
与一ではそう考えています。それは言い換えれば「テストの点が上がる」ことが塾の売りではないということです。

テストで点を取らせることは目的ではなく、「テスト」の名前通り既習内容をどれだけ理解しているかを測るものさしであるべきです。したがって与一ではテストに出ることの詰め込みのような授業は一切行いません。

少人数授業クラスでは基本的に全ての授業を学校の予習の形でを行い、新しい単元を何も知らない0の状態から進めていきます。じっくり時間をかけて説明し、何故そうなるのか、根本的な概念を一つ

一つ理解させていき、「教えられたことが出たから書けた」のではなく、「正しく理解できていたから考えて解けた」と言えるようになることを目指します。

また授業は一方的な説明ではなく、生徒と対話を繰り返し、時には生徒に説明をしてもらいながら授業を進めていきます。講師の伝えた説明を正しく理解しているかを確認すると同時に、生徒が自分で説明をすることによって、あやふやな知識をよりはっきりとしたものにさせることができます。また、ときには生徒の意見を取り入れ説明の仕方を変えたりしながら、一緒に授業を作り上げていきます。

「なるほど、そういうことか。」そう言ってもらえるよう常に最善の説明の仕方を考え、毎日授業を行っています。



■問題演習クラス —定着させるためのアウトプット—

正しく「理解」をしていますが、残念ながら実際に問題を解く段階になると忘れてしまっている、または上手く使いこなせなかった、となることがどうしても起こってしまいます。中学校も高校も決められたカリキュラムに沿った授業を行い、それを終わらすために全ての生徒の定着を待たずして、次々と新しい内容を教えていくこともその一因です。

数をとにかく多く解けばいい訳ではありませんが、知識の定着にはやはり演習は不可欠です。実際に解いてみることによって「わかったつもり」である部分が

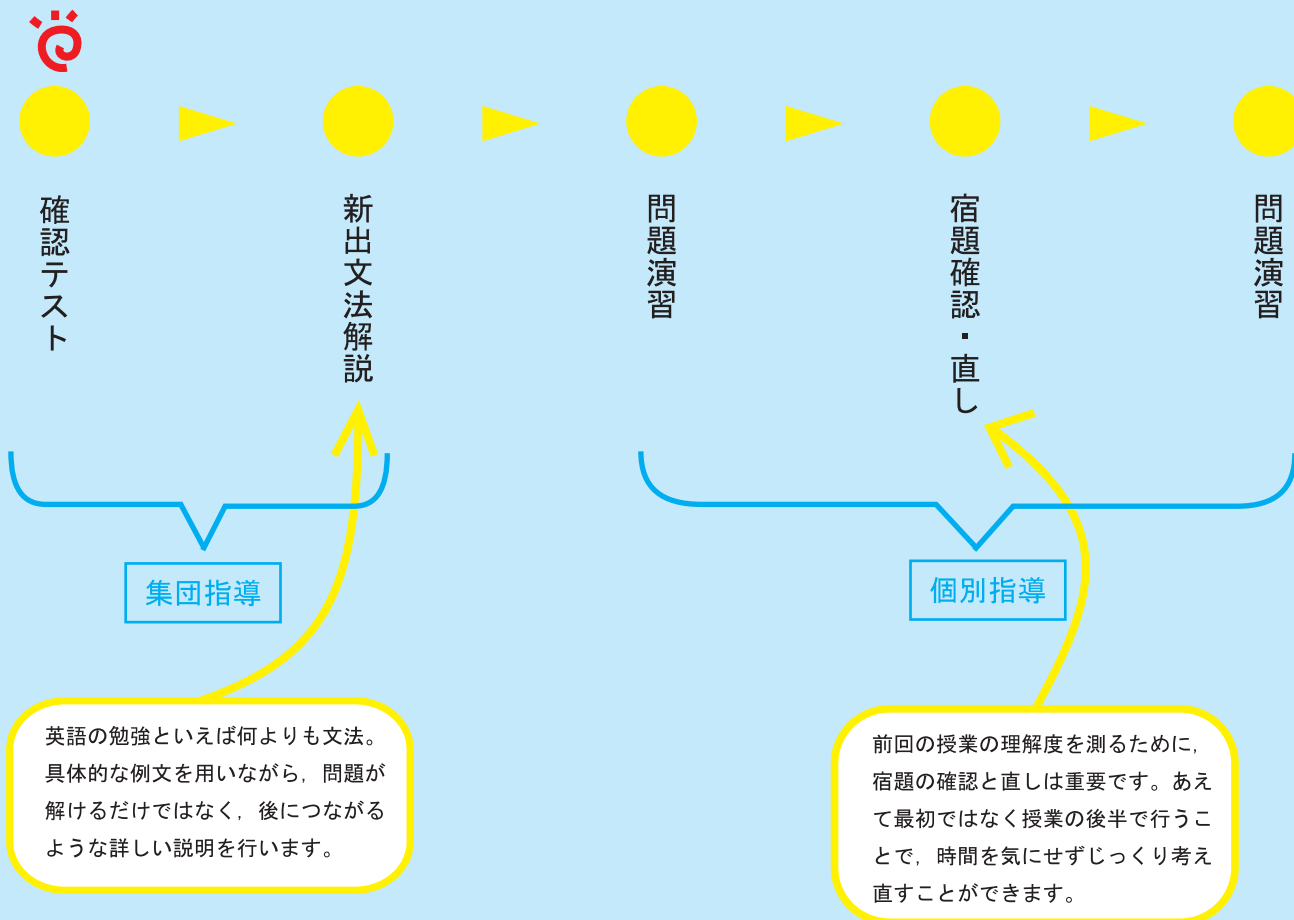
確認でき、本当に理解できるまで改めて考えてみるのが可能になります。それに加え、一つ一つの内容を確実に定着させてから次の単元に進むこともできるようになります。

そうしたことを意図したもう一つのクラスが「問題演習クラス」です。こちらのクラスでは個別指導を行うことにより、一人ひとりの理解や進度に応じた内容を行うことによって、確実に力を付けていくことが可能になります。

与一では特別な場合を除き〈授業+演習〉の2クラスを受けて頂きます。これによって「理解」と「定着」の両立を果たし、入試に向けての「実力」をしっかりと養います。



中学2年生 英語 の一例



英語って実は簡単？～英語の文は5パターンしかない！～

英語の文が「主語から始まり動詞が続く」ことは英語を習っている皆知っているでしょう。でも多くの人が困るのは、「そのあとどうなるの?」「順番わからない」ということです。この主語と動詞を、高校英語では簡単に“S”“V”と呼びますが、このSとV以外に文の中で必要なものには“O”と“C”と呼ばれるものがあります。これを使って英語の文を表すと、どれだけ内容が難しくなっても

- ① S+V (I am running.)
- ② S+V+C (You are a good student.)
- ③ S+V+O (He played soccer.)
- ④ S+V+O+O (My father gave me a book.)
- ⑤ S+V+O+C (We call him Tom.)

この5通りしか文のパターンはありません。これを覚えてしまえば、初めて見る文でも自分で英語の文を書くことができます。このように中学生では教えてくれない「本当のこと」を身につけることで、丸暗記の英語ではなく、自分で理解した正しい英語が使えるようになります。



前回内容の確認テストで重要事項を定着！

勉強で一番困るのはせつかくできるようなったことを忘れてしまうこと。それを避ける為に復習は欠かせませんが中々自主的にはできないものです。与一では新たな単元を学習するたびに確認テストを行い、毎回の復習を習慣付けます。



中学2年生 数学 の一例



導入例題

重要事項の伝達

練習問題
(類題演習)

宿題直し

テキストを用いた個別演習

発展演習
(入試問題など)

集団指導

自分で考えさせた例題を題材に、基本的な概念の解説、公式の使い方など本日のテーマについての重要事項を伝えます。

最初から教えることはせず、新しい単元でも自分で問題を読み、自分で考える時間を設けます。

教科書内容に対応したテキストを用いて学校内容の定着を図ります。学校の授業を効率良く受けられるよう、主に先取りの内容を扱います。



個別指導

生徒のレベルに応じて、高校入試問題や大学入試につながる問題などを題材に、発展的な内容も取り入れた授業を行います。



高校入学後のために ～「一般化」ってなんだろう?～

例題 1枚のコインを投げ続けることを考える。

このとき、次の試行回数における全ての場合の数を求めなさい。

- (1) 試行回数が2回の場合・・・4通り
- (2) 試行回数が3回の場合・・・8通り
- (3) 試行回数が4回の場合・・・16通り

「つまり」まとめると
どういうことだろう?

試行回数がn回の場合・・・ 2^n 通り

中学生の内容はここまでです。

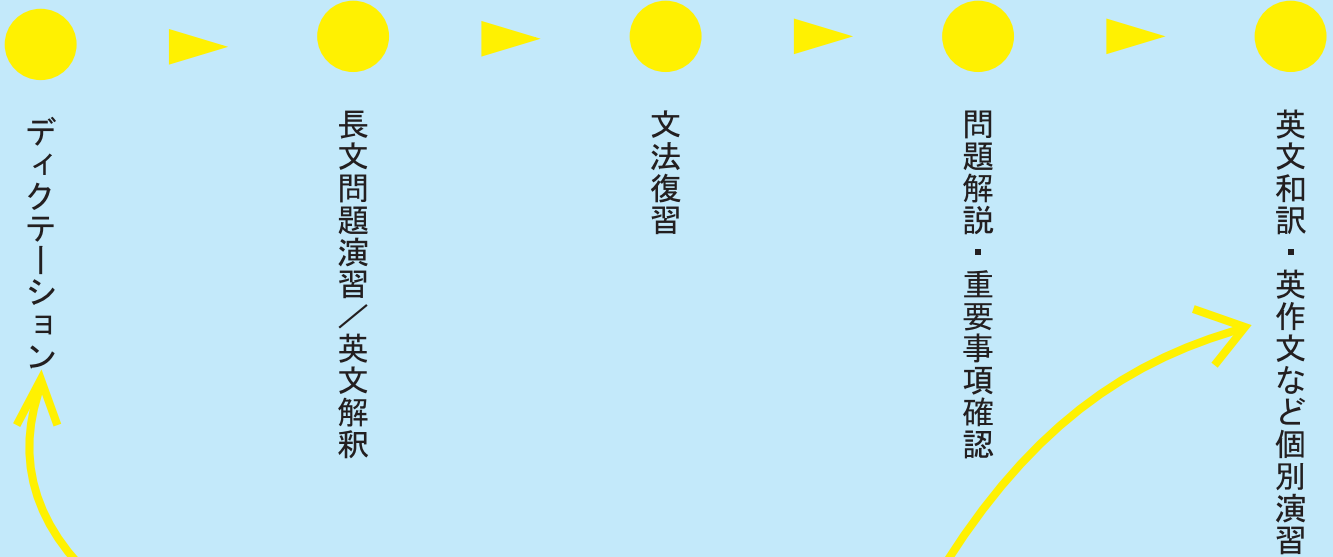
問われたことに対して「答え」を出すことで終わります。

これが「一般化」です。

問われたことだけ答えるのではなく、次へと応用の利くように「つまり」どういふことなのかをまとめます。

「一般化」によって高校生になっても使える知識となり、また本質を理解する力が付きます。

高校3年生 英語 の一例



共通テストの以前までとの大きな変更点の一つはリスニングの配点が大幅に増加したこと。この時間だけで完璧になる訳ではありませんが、「聞く」という機会確保は点数アップの大原則です。

2次試験対策は主に問題演習クラスで扱い、少人数クラスでは共通テスト対策をメインで行いますが、2次対策をするための「基礎体力」は短期間では付きにくいいため、少人数クラスでも個々の能力・進路に応じた内容で演習を行います。

高校生授業計画表 高校生の英語の授業は3年計画で進めます。

| | 1年生 | | | | | | | | | | | | 2年生 | | | | | | | | | | | |
|------|-------------------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|--------------------------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 文法 | 基礎文法 | | | | | | | | | | | | 基礎文法復習 | | | | | | | | | | | |
| 単語 | 一週目(英→日) 指定100語/週 | | | | | | | | | | | | 二週目(英→日) ランダム100語/週 | | | | | | | | | | | |
| 長文読解 | | | | | | | | | | | | | レベルに応じて基礎300語レベル or 応用読解 | | | | | | | | | | | |
| 英文和訳 | | | | | | | | | | | | | レベル別 part0 ~ part3 | | | | | | | | | | | |
| 英作文 | | | | | | | | | | | | | 文法別英作文 | | | | | | | | | | | |

| | 3年生 | | | | | | | | | | | |
|------|---------------------------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 文法 | → | | | | | | | | | | | |
| 単語 | 個別に復習 or さらに高難度の学習 | | | | | | | | | | | |
| 長文読解 | レベルや志望校に応じ記述 or センター過去問など | | | | | | | | | | | |
| 英文和訳 | 2年から引き続き (2次必要者) → 2次対策 | | | | | | | | | | | |
| 英作文 | 和文英訳 (2次必要者) → 2次対策 | | | | | | | | | | | |

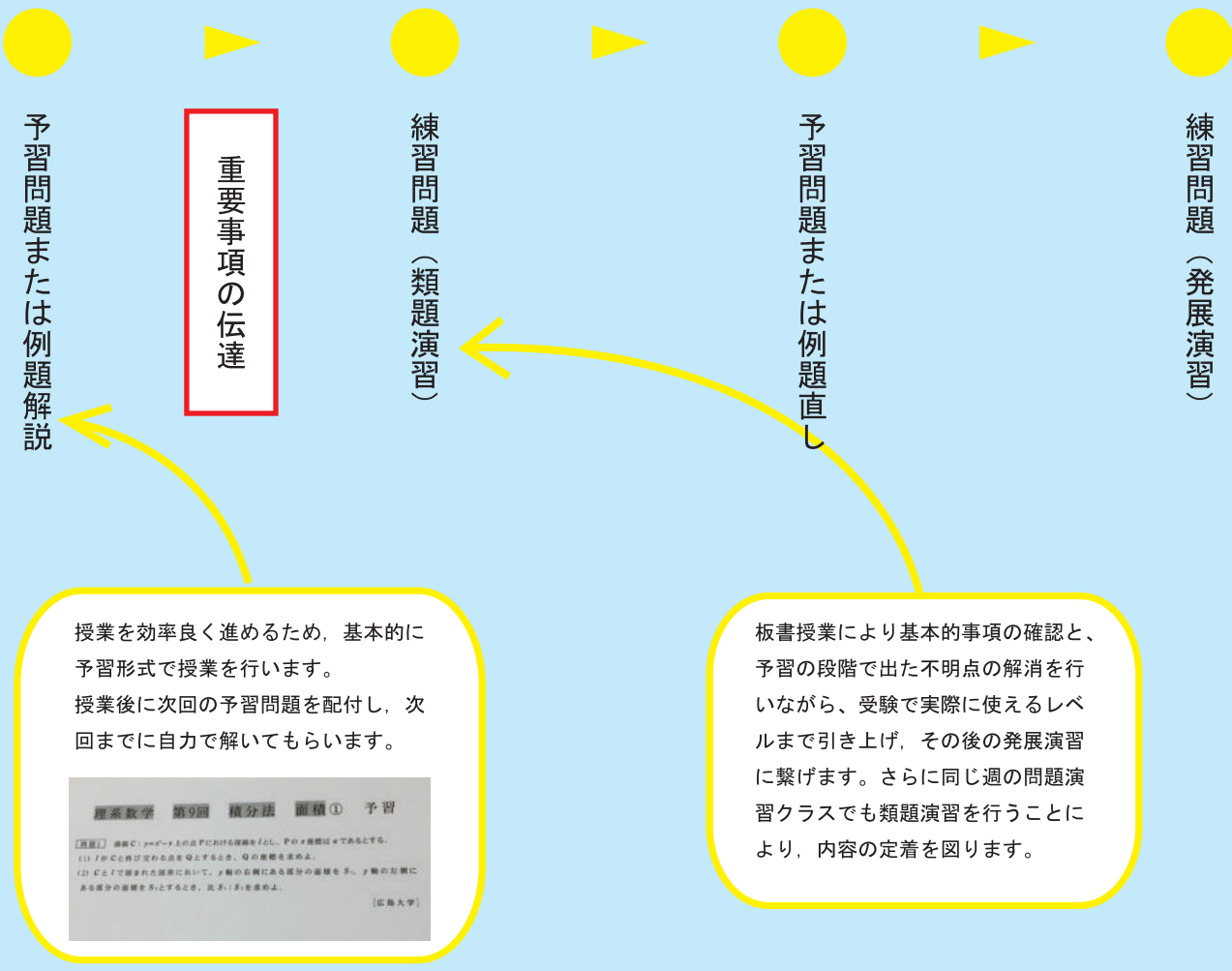
高校生の英語は、実は1年生でほとんどの内容を学習し終えます。では2・3年生では何をやるのでしょうか。すべての高校で2年生は1年生内容の復習に費やし、3年生でその発展をさせるとともに、受験対策をしていきます。

では1年生内容がきちんと身につけていたらどうでしょうか。他の子に較べかなり早く英語の「受験勉強」が始められるのです。

与一では1年生では基本内容を強く定着させ、その抜けた部分を2年生の夏までに埋めた上で、かなり早めから受験対策をスタートさせ、さらに2次試験も意識した3年計画で授業を進めていきます。

英語が得点源になり、さらに3年生では英語以外の勉強に時間を割くことができ、これによって総合的な点数アップが望めます。

高校3年生 数学 の一例



高3 数学クラス分け

高校生の数学は2年生から文系・理系で、さらに高3生からは進路・レベルに応じたクラス分けを行います。

◎理系型難関数学クラス（数学Ⅲ）

数学Ⅲが2次試験で必要で、塾内選抜テストに合格した生徒対象。夏頃までに数学Ⅲの教科書レベルの内容を、数学Ⅲ独自の計算能力の育成を中心に進めます。夏以降は2次試験の内容に対する演習を行い、2次試験で要求される記述力を付けることを目標とします。

◎文系型基礎数学クラス・基礎数学クラス

難関数学クラスに属さない理系の生徒と、大学入学共通テストまたは2次試験で数学が必要な文系の生徒を、習熟度や志望校を考慮して2クラスに分けます。文系型難関数学クラスでは早めにセンターレベルの演習を終え、2次試験の過去問演習を通して2次試験レベルの実力を育成します。基礎数学クラスでは共通テストやセンター試験の過去問をベースに、既習事項である数学ⅠA・ⅡBを夏までに復習します。また医療系の大学・専門学校の受験のサポートも行います。

| | 年間授業予定 | | | | | | | | | | | |
|------------|-----------------|----|----|----|----|-----------------|-----|-----|-----------|----|--------|----|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 理系型難関数学クラス | 数学Ⅲ | | | | | 大学別過去問演習 | | | 共通テスト直前対策 | | 2次試験対策 | |
| 文系型難関数学クラス | 共通テスト・センター過去問演習 | | | | | 大学別過去問演習 | | | 共通テスト直前対策 | | 2次試験対策 | |
| 基礎数学クラス | 数学ⅠA・ⅡB復習 | | | | | 共通テスト・センター過去問演習 | | | 共通テスト直前対策 | | 個別試験対策 | |

料金体系

○ 中 学部 90分の授業で、習ったことをその日の内に定着。

少人数授業クラス <90分 × 4回 / 月>

| 受講科目 | 料金 | テキスト代 |
|---------------|-------------|-------|
| 英語 | 10,800円 / 月 | 実費 |
| 数学 | 10,800円 / 月 | 実費 |
| 数学 (週2回) | 21,600円 / 月 | 実費 |
| 英語 + 数学 | 21,600円 / 月 | 実費 |
| 英語 + 数学 (週2回) | 32,400円 / 月 | 実費 |
| 理社自主学习確認テスト | 3,000円 / 月 | なし |

- * 中3生の数学は週2回の受講となります。特段の事情のある場合、教科書内容の学習が終了する夏以降週1回の受講とすることは可能です。
- * テキスト代は実際に使用するテキスト代金を実費で請求致します。教科・学年により教材や使用数が異なりますが、1冊あたり1,000円前後の教材を1教科あたり1冊または2冊使用します。
- * 理社自主学习確認テストは週1回・60分の時間内で2教科同時に行います。

○ 高 校部 「理解」のための少人数授業 + 「定着」のための問題演習。

少人数授業クラス + 問題演習クラス <105分 × 4回 / 月> + <90分 × 4回 / 月>

| 受講科目 | 料金 |
|---------|-------------|
| 英語 | 19,600円 / 月 |
| 数学 | 19,600円 / 月 |
| 英語 + 数学 | 37,200円 / 月 |

- * 高校生の授業は少人数授業と個別演習クラスのセット受講を基本としておりますが、特段の事情がある場合、どちらかみの受講も可能です。
- * 2教科受講による割引は、英語・数学各8回ずつを受講した月より適用致します。したがって月度途中のご入塾の場合、翌月からの適用となります。

少人数授業クラス <105分 × 4回 / 月>

| 受講科目 | 料金 |
|---------|-------------|
| 英語 | 12,600円 / 月 |
| 数学 | 12,600円 / 月 |
| 英語 + 数学 | 25,200円 / 月 |

問題演習クラス <90分 × 4回 / 月>

| 受講科目 | 料金 |
|---------|-------------|
| 英語 | 9,000円 / 月 |
| 数学 | 9,000円 / 月 |
| 英語 + 数学 | 18,000円 / 月 |

※月謝のお支払いは、口座振替にてお願いしています。

引き落としのメリット①—子どもに大金を持たせることがなく安全です。

塾に多い月謝袋でのお支払いは、子どもに大金を持たせるということで紛失や盗難などの危険性が伴います。学校帰りに直接塾に来るような場合、その危険性がさらに増してしまいます。口座振替ならこうした心配は全て解消することができます。

振込のメリット②—請求金額を確認したあとのお支払いのため金額が明確です。

当塾では実際に受講した費用を過不足なくお支払い頂くため、一律後払いでのお支払いとさせて頂いております。

各月上旬に前月の授業回数等をお知らせする請求書をお渡しし、金額をご確認頂いた後、毎月20日にお手続き頂いた口座から引き落としをさせて頂いております。

請求書

2019年04月15日

請求金額 32,600円

| 項目 | 数量 | 単価 | 金額 |
|-------------------|----|--------|---------|
| 授業料 (英語) | 4回 | 4,900円 | 19,600円 |
| 授業料 (数学) | 4回 | 4,900円 | 19,600円 |
| 授業料 (英語 + 数学) | 4回 | 6,300円 | 25,200円 |
| テキスト代 (英語) | 1冊 | 2,400円 | 2,400円 |
| テキスト代 (数学) | 1冊 | 2,400円 | 2,400円 |
| テキスト代 (英語 + 数学) | 2冊 | 1,200円 | 2,400円 |
| 請求額 (授業料 + テキスト代) | | | 32,600円 |
| 支払済 | | | - |
| 請求額 | | | 32,600円 |

請求者 2019年04月15日

請求先 理社進学塾 請求先住所 東京都中央区本町1-1-1 理社進学塾 請求先電話番号 03-5561-1111

請求金額 32,600円

○ 既 卒生 「もう一度やり直したい」も「できる限り負担を少なく」も叶えます。

通常受講コース 少人数授業クラス〈105分 × 4回 / 月〉+問題演習クラス〈90分 × 4回 / 月〉

| 受講科目 | 料金 |
|-------|-------------|
| 英語 | 22,000円 / 月 |
| 数学 | 22,000円 / 月 |
| 英語+数学 | 44,000円 / 月 |

- * 少人数授業クラスに関しては高3生と一緒に授業を受講して頂きます。数学は2次対策を中心とした【難関数学クラス】とセンター対策を中心とした【センター数学クラス】のどちらかを選んで頂きます。
- * 通常受講コースを受講の方は下記学習支援コースの内容も含まれておりますので、追加料金の必要なく下記コース同様の施設利用とサポートを受けて頂けます。

学習支援コース 〈90分 × 4回 / 月〉

| 通塾回数 | 料金 |
|------|-------------|
| 無制限 | 15,000円 / 月 |

- * できる限り経済的負担を軽くするため、決まった時間の授業を受けず、自主的な学習をメインにしたコースです。
- * 自習室解放時間（16:00～22:00）内で無制限に自習室を利用でき、質問にも時間の許す限り個別に対応致します。また参考書・教材の無料利用・貸し出し、模試の振り返り、勉強計画の作成や進路相談など総合的な受験勉強への支援を行います。

○ その他必要経費

| 入会金 | 諸経費 | 補習代 | Studypius 利用料 | 消費税 |
|---------|---------------------|-------|---------------|----------|
| 10,000円 | 1,500円 / 月 *1 *2 | 無料 *3 | 750円 / 月 *4 | 合計金額の10% |

- *1 諸経費は毎年度初月に3月までの金額を一括でお支払い頂きます。途中入塾の場合は入塾月から3月までの分となります。
- *2 ご兄弟が通塾されている方の諸経費は2人目から750円 / 月となります。

- *3 補習は担当講師が必要と認めた場合に講師からの声掛けで行います。生徒側からの要望で行うことは致しかねます。
- *4 Studypius 有料プランを選択した場合。プランの選択は入塾後に生徒・保護者様のご相談の上行って頂きます。

中3数学週2回化により教科書内容を夏までに終了。
ハイレベル問題をじっくり演習することを通して思考力を着実に養います。

変更前
(週1回)

- 教科書内容先取り + 演習
- 基礎学対策 (別講座)



変更前
(週2回)

- 教科書内容先取り + 演習 (夏までに終了)
- 基礎学対策
- 全国入試問題演習

中学校の数学は重要事項の学習が最後まで続きます。それでも高校入試に向け基礎学・入試対策に重きが置かれ、十分に理解をしないまま高校に進んでしまう生徒が少なくありません。こうした状況を改善するため、この春から中3数学を週2回に増加。中3内容の学習を夏までに終え、全国の入試問題などを解く時間を十分に確保します。

その目的はあくまで実力の育成。点数を取ることを目的とするのではなく、ハイレベルな問題にじっくり取り組むことにより、今後必要となる数学的思考力の育成を図ります。

あえて「自主学習のサポート」のみを行います。

受験において最も必要となる力は何でしょうか。国語力や集中力もちろん不可欠ですが、最も重要なのは「自学力」です。5教科教えてくれる塾もある中学生とは異なり、高校生になり大学受験をするときには、5教科受講できる塾はほとんどないからです。またあったとしても多くは映像授業であるため、結局演習などで定着を図るためには自分で学習することが欠かせません。

与一ではこの「自学力」を中学生の頃から養って欲しいと思い、開校以来英語・数学以外の授業は行わず、あくまで助言や質問対応などの「サポート」に徹してきました。それでもこの自学が上手くできない子が多いという事実を目の当たりにし、中学生・高校生共により具体的なサポートを行うことにしました。

「受験勉強の主体は生徒である」この大原則を守りつつも、生徒の学習をより強力にサポートします。

■理社自主学習確認テスト（中学生）

「理科・社会なんて覚えたらできるのに」お子さんの点数を見てそう思ったことはありませんか？中間・期末テストの理科・社会で点数を取れない子のほとんどは、「テスト前に覚える時間が足りないから」満足な点数が取れないのです。

どうしても英語や数学に比べ常に後回しとなってしまう理科や社会の勉強。これはテスト前でも変わりません。英語や数学の勉強に目処がついて初めて理科・社会に着手する。その結果もう時間がなくなってしまい不十分なままテストに臨み、不満足な点数を取る。これが大半の子が陥る状況です。

与一では従来通り理科・社会の「授業」は行いません。その代わりに、「次回までにここまで勉強してきなさい」と指示を出し、その範囲に対して毎週テストを行う「理社自主学習確認テスト」を導入しました。これによってよくある以下2つの失敗を防ぎます。

①範囲の勉強ができないままテストを受けない
学習内容の指示は次回のテスト範囲や現在の進捗を確認しながら行います。常に学習を進めていくことで、手つかずの内容を残しテストを受けることを防ぎます。

②「覚えたつもり」をなくす
テストは全て満点を合格とし、不合格の場合は合格するまで再テストを繰り返します。前日に詰め込み、うろ覚えであったためテスト本番には思い出せないということを防ぎます。



家庭学習にはよくある塾用教材ではなく、学校教材を使用してもらいます。これにより早めに定期テストへの勉強が進められるのと同時に、学校の授業に対する理解を深めることにもつながります。

| No.1 日本国憲法の成り立ちと国民主義 | No.2 日本国憲法の成り立ちと国民主義 |
|------------------------------|------------------------------|
| 1. 国に由来をたどる。正しく、()の中を埋めよう。 | 1. 国に由来をたどる。正しく、()の中を埋めよう。 |
| 2. 国に由来をたどる。正しく、()の中を埋めよう。 | 2. 国に由来をたどる。正しく、()の中を埋めよう。 |
| 3. 国に由来をたどる。正しく、()の中を埋めよう。 | 3. 国に由来をたどる。正しく、()の中を埋めよう。 |
| 4. 国に由来をたどる。正しく、()の中を埋めよう。 | 4. 国に由来をたどる。正しく、()の中を埋めよう。 |
| 5. 国に由来をたどる。正しく、()の中を埋めよう。 | 5. 国に由来をたどる。正しく、()の中を埋めよう。 |
| 6. 国に由来をたどる。正しく、()の中を埋めよう。 | 6. 国に由来をたどる。正しく、()の中を埋めよう。 |
| 7. 国に由来をたどる。正しく、()の中を埋めよう。 | 7. 国に由来をたどる。正しく、()の中を埋めよう。 |
| 8. 国に由来をたどる。正しく、()の中を埋めよう。 | 8. 国に由来をたどる。正しく、()の中を埋めよう。 |
| 9. 国に由来をたどる。正しく、()の中を埋めよう。 | 9. 国に由来をたどる。正しく、()の中を埋めよう。 |
| 10. 国に由来をたどる。正しく、()の中を埋めよう。 | 10. 国に由来をたどる。正しく、()の中を埋めよう。 |
| 11. 国に由来をたどる。正しく、()の中を埋めよう。 | 11. 国に由来をたどる。正しく、()の中を埋めよう。 |
| 12. 国に由来をたどる。正しく、()の中を埋めよう。 | 12. 国に由来をたどる。正しく、()の中を埋めよう。 |
| 13. 国に由来をたどる。正しく、()の中を埋めよう。 | 13. 国に由来をたどる。正しく、()の中を埋めよう。 |
| 14. 国に由来をたどる。正しく、()の中を埋めよう。 | 14. 国に由来をたどる。正しく、()の中を埋めよう。 |
| 15. 国に由来をたどる。正しく、()の中を埋めよう。 | 15. 国に由来をたどる。正しく、()の中を埋めよう。 |
| 16. 国に由来をたどる。正しく、()の中を埋めよう。 | 16. 国に由来をたどる。正しく、()の中を埋めよう。 |
| 17. 国に由来をたどる。正しく、()の中を埋めよう。 | 17. 国に由来をたどる。正しく、()の中を埋めよう。 |
| 18. 国に由来をたどる。正しく、()の中を埋めよう。 | 18. 国に由来をたどる。正しく、()の中を埋めよう。 |
| 19. 国に由来をたどる。正しく、()の中を埋めよう。 | 19. 国に由来をたどる。正しく、()の中を埋めよう。 |
| 20. 国に由来をたどる。正しく、()の中を埋めよう。 | 20. 国に由来をたどる。正しく、()の中を埋めよう。 |

テストは与一オリジナルの問題を用意。合格点は「満点のみ」とし、合格するための勉強を行う雑な勉強は許しません。また出題順を変えた再テスト用の問題も用意し、「場所で覚える」というありがちな失敗を防ぎます。

■個人別勉強管理（高校生）

与一は「勉強に意欲のある人だけ」通ってもらう塾です。特に高校生ともなれば自主的に勉強をするのが当たり前で、自ら進んで行う勉強に対し助言を与え、より上手く勉強を進めてもらうことを私達からの生徒の受験に対する勉強の基本姿勢としてきました。

しかし現実には、中学生のように勉強をするように都度声かけをしなければ自分で危機感を持って望めない子が後を絶たず、理想のみを追い求めても成果に繋がらないという厳しさを経験してきました。

そこで自ら勉強に臨めない子に対しては「自走し出すまではある程度の強制も必要である」と考え直し、全てを生徒任せにせず、ある程度の強制力も行使しながら勉強量を確保することに方向転換致しました。

一方で、自分で計画・実行をし、自分のペースで勉強を進められる子からすれば、塾からの強制など迷惑でしかないでしょう。

そこで与一では「個人別勉強管理」を導入致しました。まずは自分が自主的に勉強できるのかそうでないのかを自分で判断し、塾からどの程度勉強を管理して欲しいのかを自分で選んでもらいます。与一からはその選択に応じて助言や声かけを行い、自主的にしたい子も、自主的にできない子も勉強量に大きな差が出ないように管理をしていきます。



毎日の勉強時間だけでなく、教科間のバランスや使っている教材、他の子との勉強時間の比較など、受験に対する指導に必要な情報を報告してもらい、必要に応じて修正のための助言を行います。

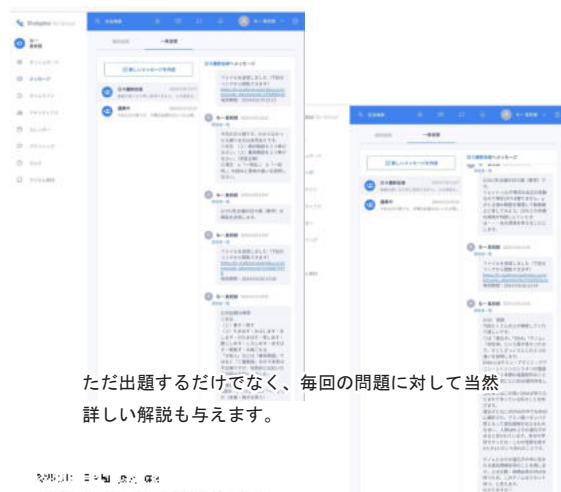
■全教科対応日々題（高校生）

全ての子が、という訳では勿論ありませんが、多くの高校生は英語や数学に比べ、理科や社会、国語を苦手としている子が多いようです。この事態が生じる理由の一つしかありません。継続的に勉強をしているかしていないか、その差だけです。

学校の授業数も多く、また塾に通う子も多い英語や数学は、日常的に触れる機会が多いのですが、理科や社会、また授業数では同じくらいある筈の国語でも絶対的に学習量が不足してしまうのです。そのため模試や実力テストなど出題範囲が広範囲に及ぶテストにおいては得意・不得意と言う前に「解き方を / 重要語句を覚えていない」という事態が往々にして起こってしまいます。

与一では国・理・(社)に関しても日頃から振り返る機会を確保するために「日々題」を実施。曜日ごとに異なる教科の問題を出題し、その日の内に解答を送信してもらいます。古文・漢文や理科・数学では基本的な重要事項を出題し、定期的に各単元の振り返りを促すことで、大切な知識の定着を図ります。現代文・英語では普段あまり取り組む機会のない作文や語彙力の強化に繋がるような問題に取り組んでもらいます。

ただ毎日問題を解くだけではどうしても継続できない子が出てくるため、日々題の成績上位者には受講費用の割引など小さくない特典も用意しています。



ただ出題するだけでなく、毎回の問題に対して当然詳しい解説も与えます。

日々題だけのオリジナル問題や、時には入試の問題も出題します。

大学受験への一貫した指導を行うために。

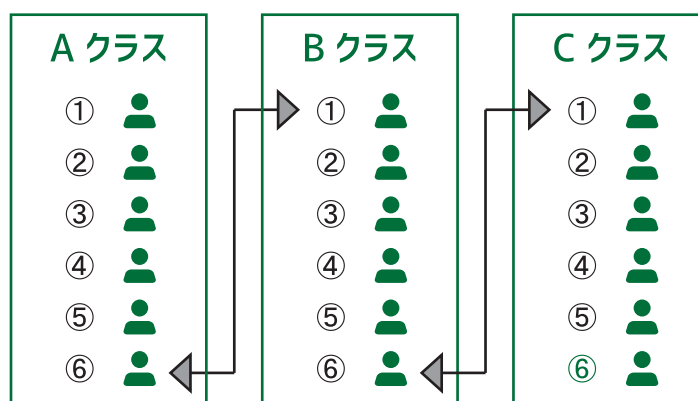
■3年+3年の一貫したカリキュラムで「最適な学習のための先取り」を含む長期計画に基づく学習を行います。

| 中1生 英語 | 中2生 英語 | 中3生 英語 |
|--|-------------------------------|----------------------------|
| 学習内容 | 学習内容 | 学習内容 |
| 4月 be 動詞・一般動詞の使い分け | 4月 先取り内容の復習、接続詞（節の概念） | 4月 不定詞の意味上の主語、原形不定詞、形式主語構文 |
| 5月 疑問詞、複数形 | 5月 動名詞 / 不定詞（句の概念） | 5月 間接疑問文、SVOC（節） |
| 6月 命令文、can | 6月 接続詞 / 動名詞 / 不定詞復習、句・節の発展学習 | 6月 分詞 |
| 7月 This / That / He / She is、一学期の復習 | 7月 第4 / 5文型、SVOC 総復習 | 7月 基礎学対策（文法復習中心・長文演習） |
| 8月 一学期の復習、SVOC の概念（第3文型まで） | 8月 1・2年文法総復習 | 8月 基礎学対策（文法復習・長文演習中心） |
| 9月 三人称単数形、代名詞 | 9月 比較 | 9月 基礎学対策（弱点補強・英作文） |
| 10月 There 構文 | 10月 文法復習による「書く」学習 | 10月 基礎学対策、関係代名詞 |
| 11月 現在進行形 | 11月 文法復習による「書く」学習、受動態 | 11月 基礎学対策、関係詞（復習） |
| 12月 一般動詞の過去形（規則動詞・不規則動詞） | 12月 受動態、比較復習 | 12月 基礎学対策、仮定法 |
| 1月 be 動詞の過去形、過去進行形、総復習（基礎学対策） | 1月 総復習（基礎学対策） | 1月 入試対策、中学文法総復習 |
| 2月 総復習（基礎学対策） | 2月 総復習（基礎学対策） | 2月 入試対策、英作文 |
| 3月 1年内容の復習、must / have to / will / be going to | 3月 受動態復習、現在完了形、現在完了進行形 | 3月 入試対策、高校内容 |

| 中1生 数学 | 中2生 数学 | 中3生 数学（基礎2回演習） |
|----------------|---------------------|-----------------------|
| 学習内容 | 学習内容 | 学習内容 |
| 4月 正負の数 | 4月 式の計算 | 4月 式の展開と因数分解、平方根 |
| 5月 正負の数の計算 | 5月 文字式の利用 | 5月 平方根、二次方程式 |
| 6月 文字式 | 6月 連立方程式 | 6月 関数 $y=ax^2$ 、図形と相似 |
| 7月 文字式、方程式 | 7月 連立方程式 | 7月 図形と相似、円の性質 |
| 8月 変化と対応 | 8月 一次関数 | 8月 三平方の定理、標本調査 |
| 9月 変化と対応、平面図形 | 9月 一次関数 | 9月 基礎学対策、全国入試問題演習 |
| 10月 平面図形 | 10月 一次関数、図形の調べ方 | 10月 基礎学対策、全国入試問題演習 |
| 11月 平面図形 | 11月 図形の調べ方、図形の性質と証明 | 11月 基礎学対策、全国入試問題演習 |
| 12月 平面図形 | 12月 図形の性質と証明 | 12月 基礎学対策、全国入試問題演習 |
| 1月 空間図形 | 1月 図形の性質と証明 | 1月 入試対策、全国入試問題演習 |
| 2月 空間図形、テータの活用 | 2月 図形の性質と証明、場合の数と確率 | 2月 入試対策、全国入試問題演習 |
| 3月 テータの活用 | 3月 場合の数と確率、テータの活用 | 3月 入試対策、高校内容 |

中学校の指導要領改訂や大学受験の変革により、「先を見据えた勉強」の必要性がさらに高まっています。与一では闇雲に先取り内容を進めるのではなく、現在の内容も先の内容もより効率よく学習が進められるよう最適化したカリキュラムを用意し、3年間、さらには6年間の学習という視点から学習を進めていきます。

■定着度確認テスト+クラス入れ替え制度で既習事項の定着による実力育成と、緊張感の持続を図ります。



学習の何よりの大敵は、「習ったことが身に付かない」こと。それを防ぐために最適なのは定期的なテストを行うことです。与一では授業ごと、または一定期間ごとにテストを行うことで、既習内容の定着、それによる着実な実力の育成を図ります。また復習に真剣に向き合えるよう、そのテスト結果に基づいてクラスの入替えを行い、常に勉強への緊張感を保てる環境を用意しています。

STEP 1

お問い合わせ

与一に興味を持っていただけましたら、お電話・メールでのお問い合わせ、またはウェブサイトの体験授業申し込みフォームよりお申し込みください。

体験授業を受講される方は②からの、入塾希望の方は④からの手順となります。

また高2・高3生は、一度ご来塾頂き志望校や現在の学力・勉強状況などを聞かせて頂く場合もございます。

STEP 2

体験授業を受講

お電話やメールで現在の状況の聞き取りや日程の調整を行い、体験をしていただくのに最適なクラスを決定し、後日ご案内を致します。

体験授業では体験用ではなく普段と同じ授業を受けていただきますので、授業内容や授業の雰囲気、どんな先生がいるのかを実際に確認してもらえます。

体験授業は英語・数学共一度ずつ無料で受けていただけます。

STEP 3

入塾の意思確認

体験授業をご受講の後、入塾を決められた場合には1週間以内にその旨をご連絡ください。

無理な勧誘を避けるため、塾の方からの連絡は致しません。

授業の様子は勿論、講師と合いそうか、何よりもこれから与一で頑張って勉強をしていこうという気持ちを持たかどうかをしっかりとご家庭で話し合ってください。

授業での様子や勉強への意欲に疑問を感じた場合、保護者様との話し合いの上入塾をお断りする場合がございます。

STEP 4

通塾開始

これまでのヒアリング内容や体験授業を踏まえクラスを決定し、通塾開始となります。

授業開始前には特に入塾の手続き等はございません。

受講費用等はすべて後払いとなりますので、⑤の面談終了までお支払いも発生致しません。

受講費用は回数割が可能ですので、月度途中からでも通塾を開始していただけますが、「別の塾で授業料を払ってしまっているのに翌月から開始したい」などのご要望にもお応え致します。

STEP 5

保護者面談

入塾に際しての諸注意や費用のご説明、口座振替の手続きを行います。その後通塾中の授業の様子をお伝えし、今後の志望校へ向けての話し合いをさせていただきます。

せっかくお時間をいただきますので、どんな疑問や相談でもぶつけて頂き、意義のある時間にしましょう！

面談は基本的にご入塾時のみとなりますが、ご要望に応じて今後行うことは可能です。

STEP 6

初回お支払い

⑤でお渡しした請求書をもとに、初回の受講費用等をお支払い頂きます。2回目以降は口座振替でのお支払いとなりますが、手続きの関係上、初回のみお振込みでのお支払いをお願いいたします。

「できる限り勉強しやすい環境」を目指しています。

○教室

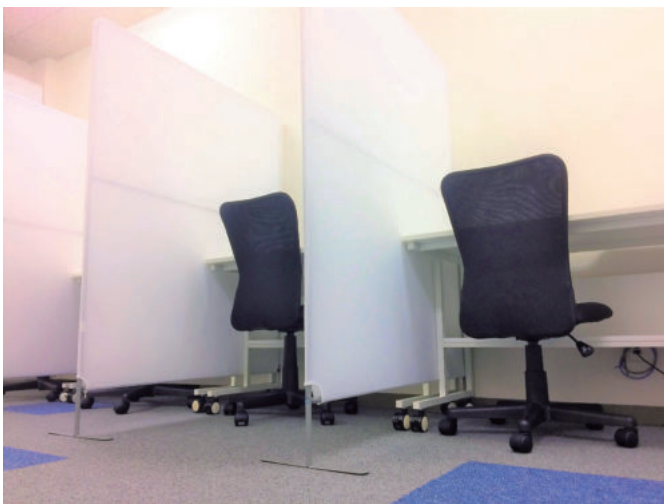


ひとりにつき大きめの机を使ってもらうことで、隣を気にせずゆったりと勉強に集中することができます。教科書や参考書、辞書なども広げておくことができるので、わからないところや確認したいところをすぐに調べることができます。



授業の中心である板書を存分に行うため、ホワイトボードはかなり大きいものを設置しています。新しいことを説明するときも、質問に対して説明するときも、口頭では済ませず板書を用いることで視覚・聴覚の両方を活用することになり、理解がより深まります。

○自習室



塾によくある「個別自習室」は、個別といっても仕切りが机の上にはかないので、実際に席についてみると隣から丸見えとなり、結構気になってしまうものです。

与一の自習室は仕切りを座席部分まで取ってあるので、隣と完全に遮断され、隣を気にせず最大限の集中で勉強に取り組みます。



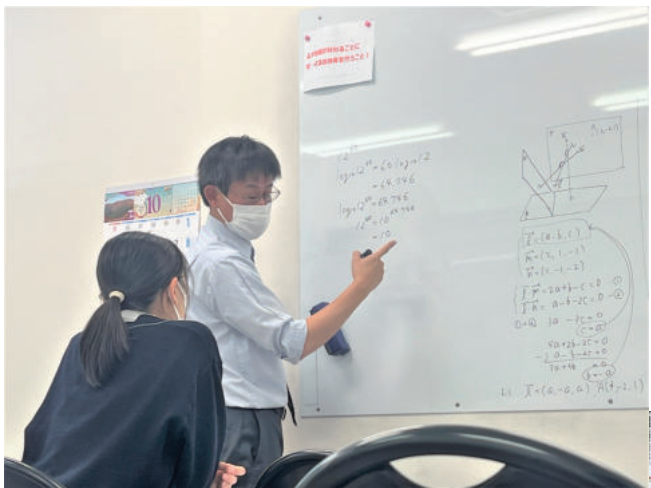
また自習室には与一が厳選した参考書がたくさん置いてあります。必要な参考書を全て揃えるのがかなりの費用がかかりますが、自習室の勉強ではこの参考書がすべて自由に使えます。さらに家庭学習で使用したいときには貸し出しにも応じています。赤本や過去問、進路関係の本なども豊富に用意してあります。

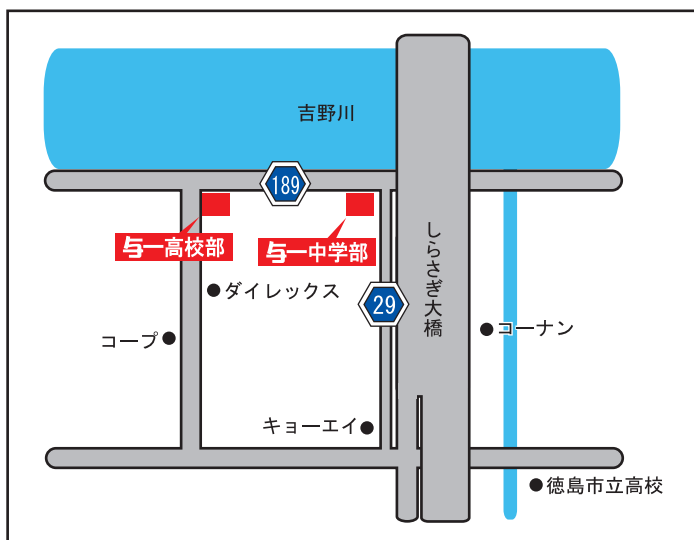
○食事スペース

広くはないですが食事スペースを用意しています。授業の合間や学校帰りの授業前など、次の授業に向けて食事をしたとき、また自習の合間で夕食をとるときなどに利用して下さい。



塾での様子





中学生からの大学受験



与一

I'll give you only "one".

与一 徳島

検索

Website <https://yoichi-think-of-thinking.sakuraweb.com/bzw88963/>
 mail yoichi.sincejuniorhigh@gmail.com



< 中学部 >

徳島市住吉6丁目7-30メッセ住吉西棟8号
 TEL (088) 661-1378



< 高校部 >

徳島市住吉6丁目7-17
 TEL (088) 635-5698